



キャンプ利用状況 (12月8日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 4,982 名 *12/7 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 5,271 名 *12/7 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	12/8	9	10	11	12	13	14
曜日	木	金	土	日	月	火	水
宿泊者	12	12	26	11	9	9	9
活動者	14	13	26	12	9	9	9

民間企業の復興を支援

- ◆ 今月5日から、山田町社協ふれ愛センターの要請で、山田町大沢漁港大和水産さんの蒸籠(せいろう)の洗浄作業を行っています。この蒸籠は、煮干しを製造する加工工場で使われる用具で、原料魚のイワシを並べて蒸す際の金網を張った木枠の台のことです。津波で海の土砂を被った蒸籠をブラシ等で丁寧に泥落としをする作業で、立ち仕事となります。キャンプでは、この活動に1日5~6名のかわボラさんの参加を続けます。
- ◆ きょう8日かわボラさんは、大槌町小槌のショッピングセンター「シーサイドタウンマスト」の机、ロッカー等の移動など、開店準備作業に参加しました。マストは、岩手県沿岸部最大級の商業施設で震災直後は瓦礫にすっかり覆われました。店内には核店舗のスーパーとホームセンターのほか、金融機関や45店の専門店が入ることとなっています。マストは今月22日、地域の賑わいの回復を担って震災前と同じ場所で9ヵ月ぶりに営業を再開する予定です。
- ◆ キャンプでは、古里の復興に繋がる民間企業の復興に向けた支援活動にも積極的に参加します。



蒸籠の洗浄作業 (大沢漁港)